

岡山県の景気観測調査

(平成26年4～6月期実績)

平成26年7月28日

岡山県商工会議所連合会

1. 調査方法 FAXによるアンケート
2. 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①平成26年4～6月期を前年同期と比較
②平成26年7～9月期の先行き見通しを平成26年4～6月期と比較
3. 調査時期 6月下旬
4. 調査対象 県下商工会議所会員企業593社
5. 有効回答数 563社 (回収率94.9%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|
| 製造業 | 194社 | 食料品30社 | 繊維関連36社 | 紙・印刷・出版21社 |
| | | 機械金属32社 | 電気・精密機械13社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具17社 | その他36社 | |
| 建設業 | 83社 | | | |
| 卸売業 | 77社 | | | |
| 小売業 | 99社 | | | |
| サービス業 | 110社 | | | |
6. 調査開始時期 平成10年12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、
マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先 岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	総務・企画部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	指導課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	企業振興課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	中小企業振興部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	総務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

平成26年4～6月期「景況概要」

「景況は消費増税の影響を受け悪化。先行きは早期回復の見込み」

景況全体では、DI値がマイナス幅を拡大し、6期ぶりの悪化となった。業種別を見ると、サービス業でわずかに改善したが、その他の4業種は悪化。特に小売業は大きくマイナス幅を拡大した。項目別では、生産額・売上額、受注額でDI値が大幅にポイントを下げプラスからマイナスに転換した。製品・商品販売価格、資金繰りでは、DI値が最高値となった。先行き見通しDIも最高値を記録、駆け込み需要の反動減からの早期回復が見込まれる。

1. 景況

総合DI（好転－悪化）は▲9.1と1～3月期に比べ7.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業でプラスからマイナスへ転換、卸売業でプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、小売業でマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI（増加－減少）は▲11.5と1～3月期に比べ18.6ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。

業種別では、製造業でプラス幅が縮小、卸売業、小売業でプラスからマイナスへ転換、サービス業でマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI（増加－減少）は▲3.9と1～3月期に比べ11.4ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。

業種別では、製造業でプラスからマイナスへ転換し、建設業でマイナス幅が拡大した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI（下降－上昇）は▲42.4と1～3月期に比べ1.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI（上昇－下降）は9.9と1～3月期に比べ7.8ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業でプラス幅が拡大、製造業、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業でプラス幅が縮小した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI（減少－増加）は7.3と1～3月期に比べ5.8ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスに転換した。

7. 資金繰り

総合DI（好転－悪化）は▲8.3と1～3月期に比べ1.6ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業でマイナスからプラスに転換、建設業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業でマイナス幅が拡大した。

8. 採算（収益）

総合DI（好転－悪化）は▲19.7と1～3月期に比べ8.9ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

9. 従業員（常用）

総合DI（不足－過剰）は8.7と1～3月期に比べ2.5ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、卸売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、小売業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業、サービス業でプラス幅が縮小した。

10. 従業員（臨時）

総合DI（不足－過剰）は12.1と1～3月期に比べ0.2ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、建設業、卸売業、小売業ではプラス幅が拡大した。しかし、製造業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

1. 景況

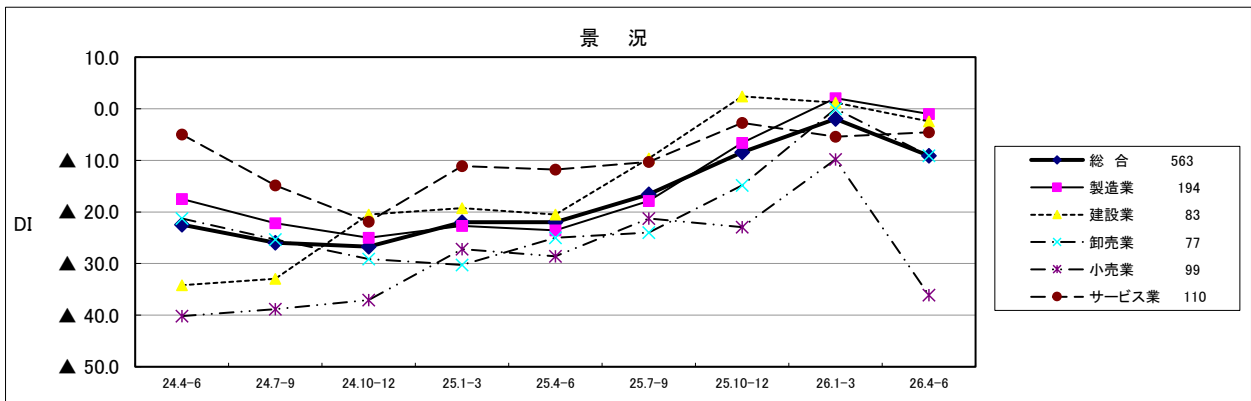
(1) 全体

総合DI（好転→悪化）は▲9.1と1～3月期に比べ7.1ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業でプラスからマイナスへ転換、卸売業でプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、小売業でマイナス幅が拡大した。

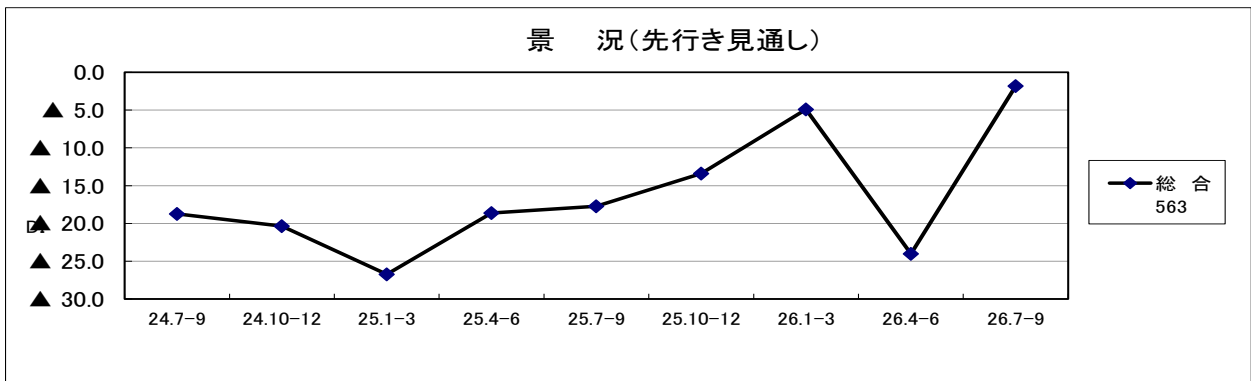
平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲1.8（前回調査時の先行き見通し総合DI ▲24.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

景況		24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	563	▲22.4	▲25.9	▲26.7	▲22.0	▲22.0	▲16.6	▲8.4	▲2.0	▲9.1
製造業	194	▲17.5	▲22.2	▲25.0	▲22.7	▲23.6	▲17.9	▲6.6	2.1	▲1.0
建設業	83	▲34.2	▲32.9	▲20.5	▲19.3	▲20.5	▲9.6	2.4	1.2	▲2.5
卸売業	77	▲21.3	▲25.3	▲29.1	▲30.3	▲25.0	▲24.0	▲14.9	0.0	▲9.1
小売業	99	▲40.2	▲38.8	▲37.0	▲27.2	▲28.6	▲21.3	▲22.9	▲9.8	▲36.1
サービス業	110	▲5.0	▲14.9	▲21.9	▲11.1	▲11.8	▲10.3	▲2.8	▲5.4	▲4.5



<参考> 先行き見通し

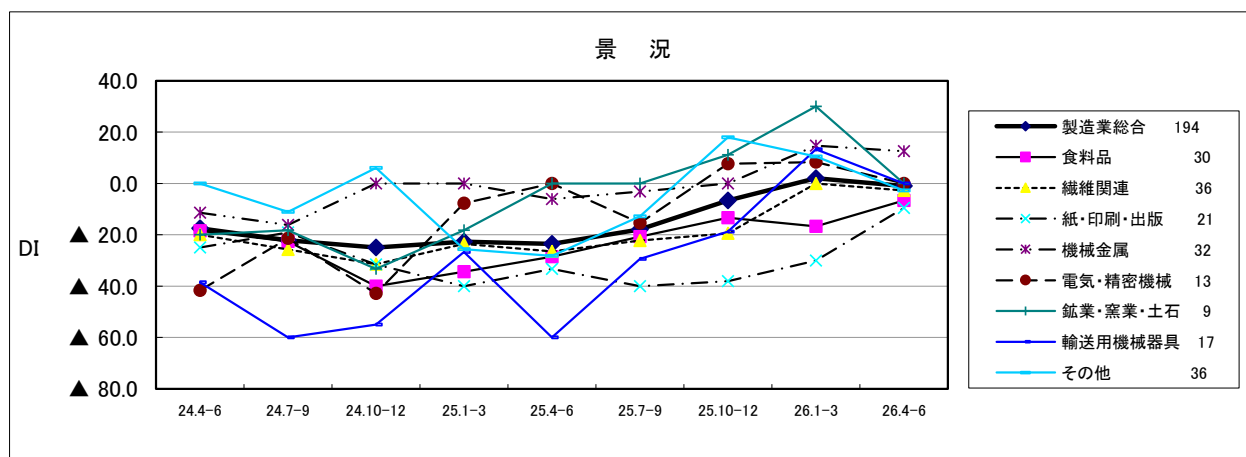
先行き見通し		24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9
総合	563	▲18.8	▲20.4	▲26.7	▲18.6	▲17.7	▲13.4	▲4.9	▲24.0	▲1.8



(2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、機械金属ではプラス幅が縮小、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、その他ではプラスからマイナスへ転換、繊維関連ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

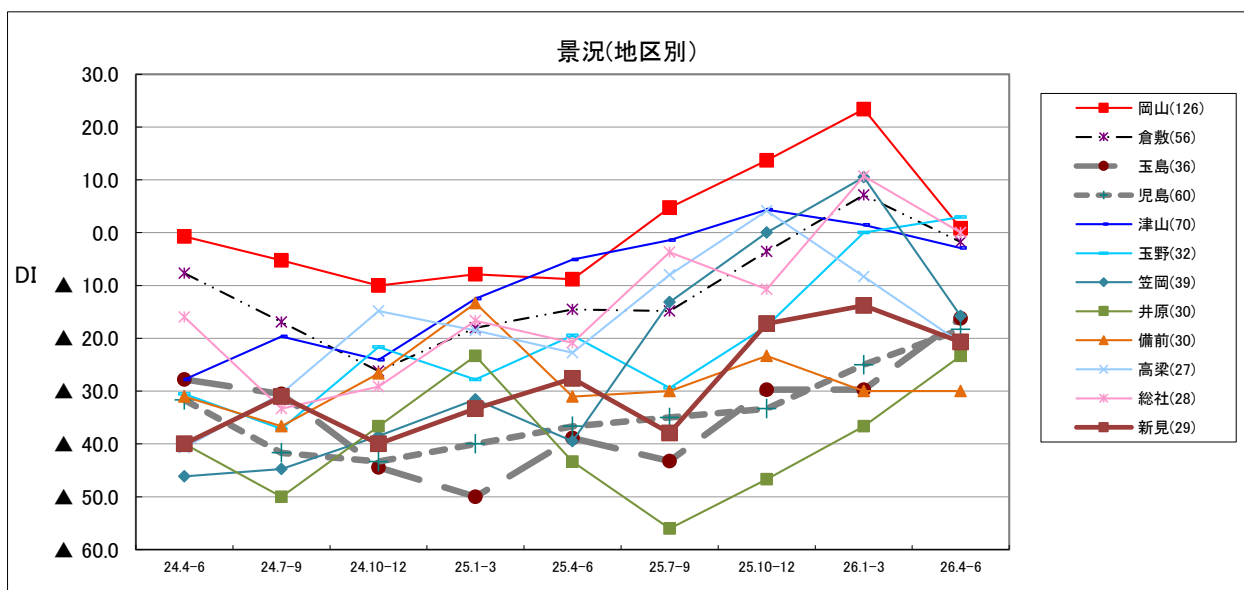
景況		24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	194	▲ 17.5	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 23.6	▲ 17.9	▲ 6.6	2.1	▲ 1.0
食料品	30	▲ 18.4	▲ 22.6	▲ 40.0	▲ 34.4	▲ 28.6	▲ 20.7	▲ 13.3	▲ 16.7	▲ 6.7
繊維関連	36	▲ 20.0	▲ 25.7	▲ 31.4	▲ 23.5	▲ 26.5	▲ 22.2	▲ 19.4	0.0	▲ 2.8
紙・印刷・出版	21	▲ 25.0	▲ 19.0	▲ 31.6	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 38.1	▲ 30.0	▲ 9.5
機械金属	32	▲ 11.4	▲ 16.1	0.0	0.0	▲ 6.1	▲ 3.1	0.0	14.7	12.5
電気・精密機械	13	▲ 41.7	▲ 21.4	▲ 42.9	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	7.7	8.3	0.0
鉱業・窯業・土石	9	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	0.0	11.1	30.0	0.0
輸送用機械器具	17	▲ 38.5	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 26.7	▲ 60.0	▲ 29.4	▲ 18.8	13.3	0.0
その他	36	0.0	▲ 11.1	6.1	▲ 25.6	▲ 28.2	▲ 12.8	17.9	10.5	▲ 2.8



<参考>地区別

玉野ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、玉島、児島、井原ではマイナス幅が縮小、備前ではマイナスで横ばいであった。しかし、岡山ではプラス幅が縮小、総社ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、倉敷、津山、笠岡ではプラスからマイナスへ転換、高梁、新見ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
岡山(126)	▲ 0.7	▲ 5.3	▲ 10.0	▲ 7.9	▲ 8.8	4.8	13.7	23.4	0.8
倉敷(56)	▲ 7.7	▲ 16.9	▲ 26.2	▲ 18.0	▲ 14.5	▲ 14.8	▲ 3.6	7.1	▲ 1.8
玉島(36)	▲ 27.8	▲ 30.6	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 38.9	▲ 43.2	▲ 29.7	▲ 29.7	▲ 16.2
児島(60)	▲ 31.7	▲ 41.7	▲ 43.3	▲ 40.0	▲ 36.7	▲ 35.0	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 18.3
津山(70)	▲ 27.8	▲ 19.6	▲ 24.1	▲ 12.5	▲ 5.1	▲ 1.4	4.3	1.4	▲ 2.9
玉野(32)	▲ 30.6	▲ 37.1	▲ 21.6	▲ 27.8	▲ 19.4	▲ 29.4	▲ 17.6	0.0	2.9
笠岡(39)	▲ 46.2	▲ 44.7	▲ 38.5	▲ 31.6	▲ 39.5	▲ 13.2	0.0	10.5	▲ 15.8
井原(30)	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 36.7	▲ 23.3	▲ 43.3	▲ 56.0	▲ 46.7	▲ 36.7	▲ 23.3
備前(30)	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 26.7	▲ 13.3	▲ 31.0	▲ 30.0	▲ 23.3	▲ 30.0	▲ 30.0
高梁(27)	▲ 40.7	▲ 30.4	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 22.7	▲ 8.0	4.2	▲ 8.3	▲ 20.8
総社(28)	▲ 16.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 3.7	▲ 10.7	10.7	0.0
新見(29)	▲ 40.0	▲ 31.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 27.6	▲ 37.9	▲ 17.2	▲ 13.8	▲ 20.7



2. 生産額・売上額

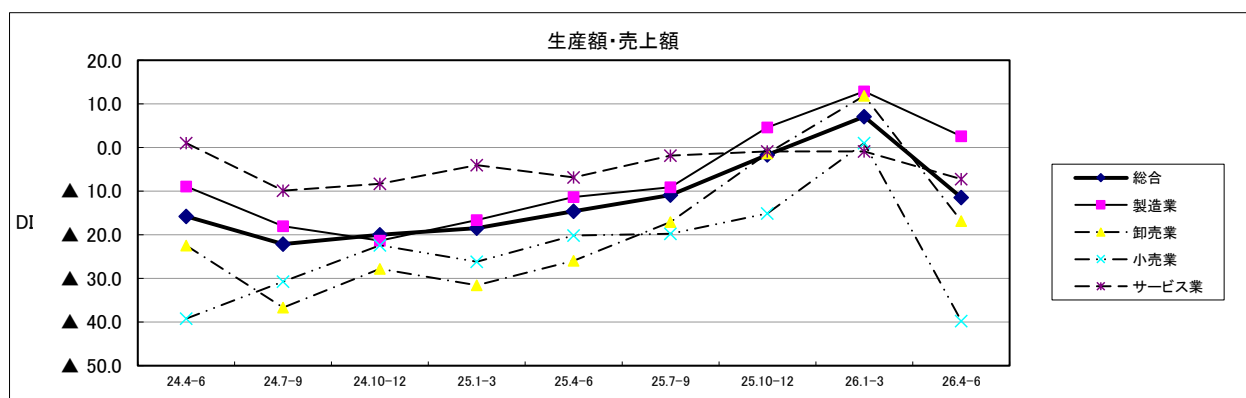
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は▲11.5と1～3月期に比べ18.6ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。

業種別では、製造業でプラス幅が縮小、卸売業、小売業でプラスからマイナスへ転換、サービス業でマイナス幅が拡大した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合D Iは▲9.5（前回▲26.7）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

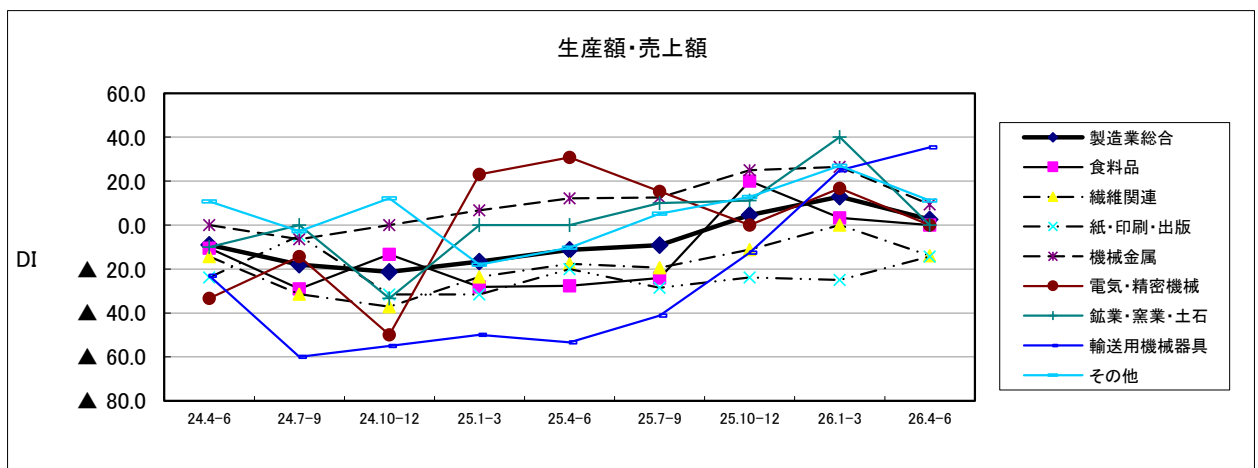
生産額・売上額	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	▲15.8	▲22.2	▲20.0	▲18.5	▲14.6	▲10.9	▲1.7	7.1	▲11.5
製造業	▲9.0	▲18.0	▲21.4	▲16.7	▲11.3	▲9.1	4.6	12.9	2.6
卸売業	▲22.5	▲36.7	▲27.8	▲31.6	▲26.0	▲17.1	▲1.3	11.8	▲16.9
小売業	▲39.3	▲30.8	▲22.4	▲26.2	▲20.2	▲19.8	▲15.2	1.0	▲39.8
サービス業	1.0	▲9.9	▲8.3	▲4.0	▲6.9	▲1.9	▲0.9	▲0.9	▲7.3



(2) 製造業の内訳

輸送用機械器具ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、機械金属、その他ではプラス幅が縮小、食料品、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

生産額・売上額	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 9.0	▲ 18.0	▲ 21.4	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.1	4.6	12.9	2.6
食料品	▲ 10.5	▲ 29.0	▲ 13.3	▲ 28.1	▲ 27.6	▲ 24.1	20.0	3.3	0.0
繊維関連	▲ 14.3	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 19.4	▲ 11.1	0.0	▲ 13.9
紙・印刷・出版	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 31.6	▲ 31.6	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 14.3
機械金属	0.0	▲ 6.5	0.0	6.7	12.1	12.5	25.0	26.5	9.4
電気・精密機械	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 50.0	23.1	30.8	15.4	0.0	16.7	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 10.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	10.0	11.1	40.0	0.0
輸送用機械器具	▲ 23.1	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 41.2	▲ 12.5	25.0	35.3
その他	10.8	▲ 2.8	12.1	▲ 17.9	▲ 10.3	5.1	12.8	27.0	11.1



3. 受注額

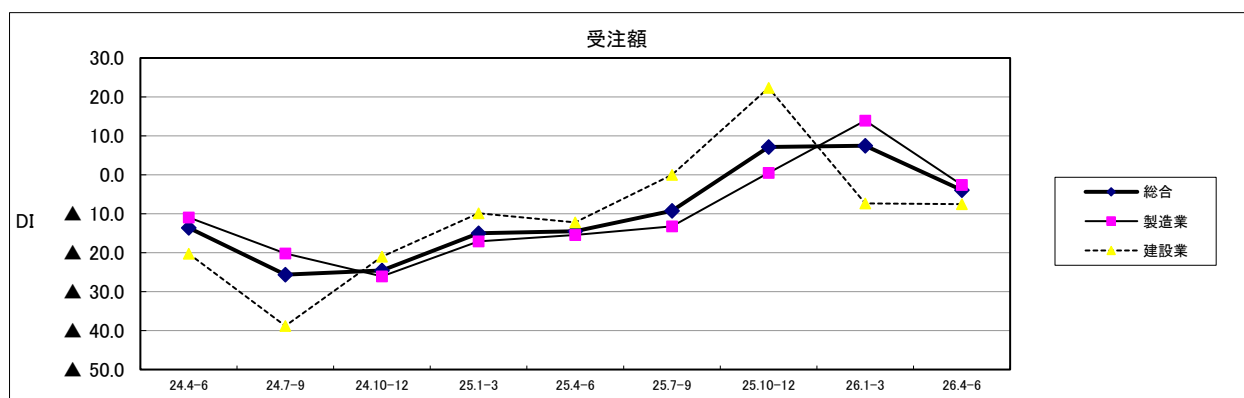
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は▲3.9と1～3月期に比べ11.4ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。

業種別では、製造業でプラスからマイナスへ転換し、建設業でマイナス幅が拡大した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合D Iは▲5.8（前回▲15.9）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

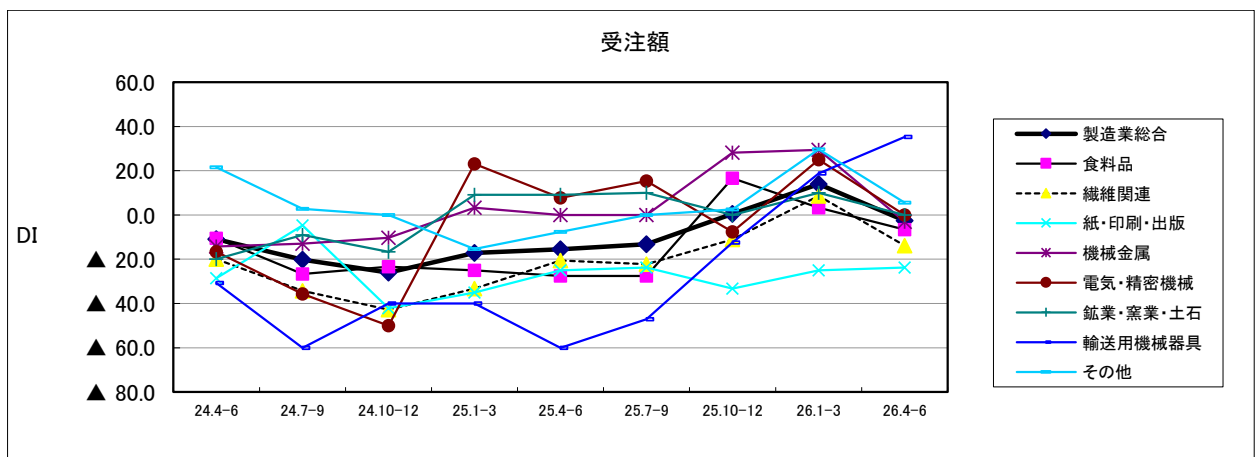
受注額	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	▲ 13.6	▲ 25.6	▲ 24.5	▲ 15.0	▲ 14.5	▲ 9.3	7.1	7.5	▲ 3.9
製造業	▲ 10.9	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 15.5	▲ 13.2	0.5	13.9	▲ 2.6
建設業	▲ 20.3	▲ 38.8	▲ 21.0	▲ 9.9	▲ 12.2	0.0	22.4	▲ 7.3	▲ 7.5



(2) 製造業の内訳

輸送用機械器具ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、その他ではプラス幅が縮小、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連、機械金属ではプラスからマイナスへ転換した。

受注額	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 10.9	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 15.5	▲ 13.2	0.5	13.9	▲ 2.6
食料品	▲ 10.5	▲ 26.7	▲ 23.3	▲ 25.0	▲ 27.6	▲ 27.6	16.7	3.3	▲ 6.7
繊維関連	▲ 20.0	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 20.6	▲ 22.2	▲ 11.1	8.6	▲ 13.9
紙・印刷・出版	▲ 28.6	▲ 4.8	▲ 42.1	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 23.8
機械金属	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 10.3	3.3	0.0	0.0	28.1	29.4	▲ 3.1
電気・精密機械	▲ 16.7	▲ 35.7	▲ 50.0	23.1	7.7	15.4	▲ 7.7	25.0	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 16.7	9.1	9.1	10.0	0.0	10.0	0.0
輸送用機械器具	▲ 30.8	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 47.1	▲ 12.5	18.8	35.3
その他	21.6	2.8	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	2.6	29.7	5.6



4. 原材料・商品仕入価格

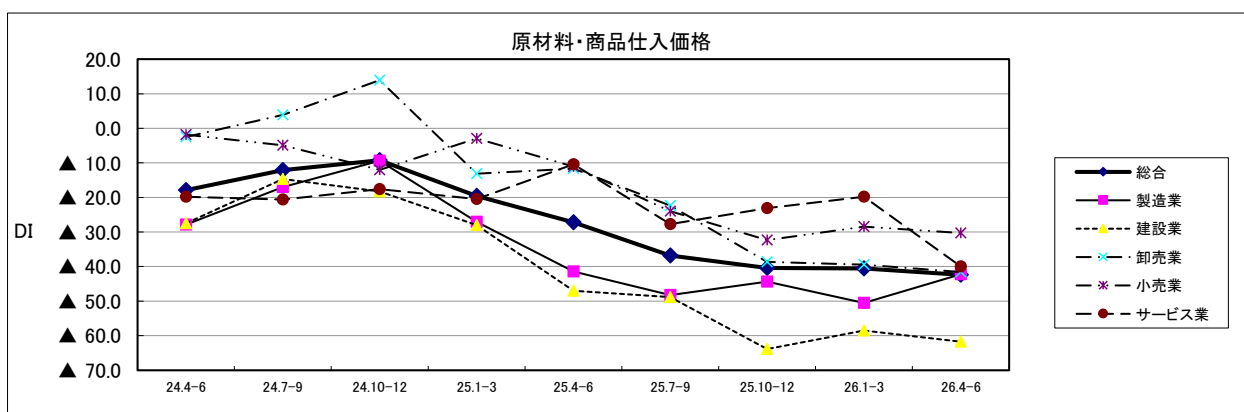
(1) 全体

総合DI（下降－上昇）は▲42.4と1～3月期に比べ1.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲32.9（前回▲41.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

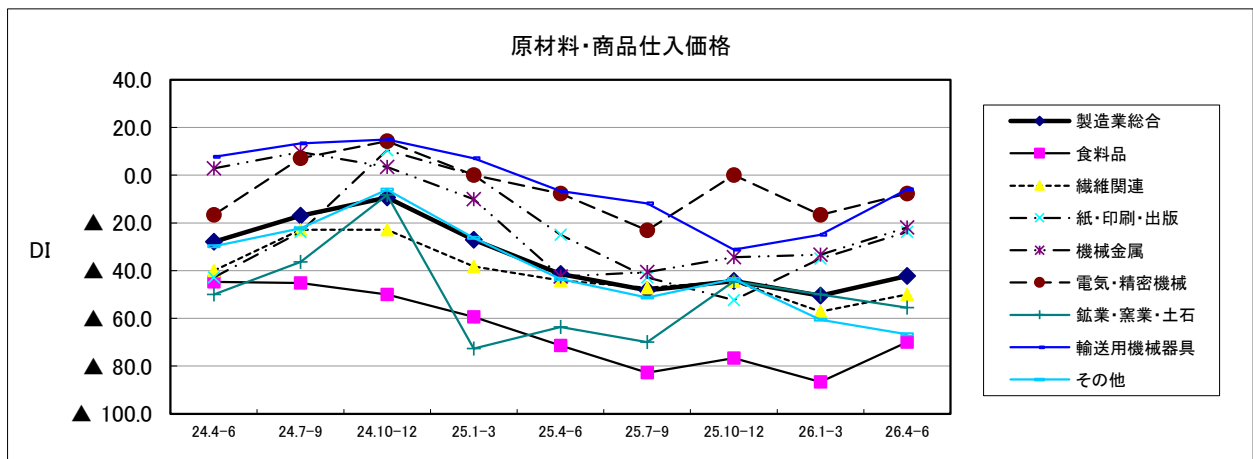
原材料・商品仕入価格	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	▲17.9	▲12.1	▲9.2	▲19.6	▲27.2	▲36.8	▲40.4	▲40.6	▲42.4
製造業	▲27.9	▲17.0	▲9.4	▲27.1	▲41.5	▲48.2	▲44.4	▲50.5	▲42.3
建設業	▲27.5	▲14.6	▲18.3	▲28.0	▲47.0	▲48.8	▲63.9	▲58.5	▲61.7
卸売業	▲2.5	3.8	13.9	▲13.2	▲11.7	▲22.4	▲38.7	▲39.5	▲41.6
小売業	▲1.9	▲4.9	▲12.0	▲2.9	▲11.1	▲24.0	▲32.3	▲28.4	▲30.3
サービス業	▲19.8	▲20.6	▲17.6	▲20.4	▲10.4	▲27.7	▲23.1	▲19.8	▲40.0



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が拡大した。

原材料・商品仕入価格	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 27.9	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 27.1	▲ 41.5	▲ 48.2	▲ 44.4	▲ 50.5	▲ 42.3
食料品	▲ 44.7	▲ 45.2	▲ 50.0	▲ 59.4	▲ 71.4	▲ 82.8	▲ 76.7	▲ 86.7	▲ 70.0
繊維関連	▲ 40.0	▲ 22.9	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 44.1	▲ 47.2	▲ 44.4	▲ 57.1	▲ 50.0
紙・印刷・出版	▲ 42.9	▲ 23.8	10.5	0.0	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 52.4	▲ 35.0	▲ 23.8
機械金属	2.9	9.7	3.4	▲ 10.0	▲ 42.4	▲ 40.6	▲ 34.4	▲ 33.3	▲ 21.9
電気・精密機械	▲ 16.7	7.1	14.3	0.0	▲ 7.7	▲ 23.1	0.0	▲ 16.7	▲ 7.7
鉱業・窯業・土石	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 8.3	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 70.0	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 55.6
輸送用機械器具	7.7	13.3	15.0	7.1	▲ 6.7	▲ 11.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 5.9
その他	▲ 29.7	▲ 22.2	▲ 6.1	▲ 26.3	▲ 43.6	▲ 51.3	▲ 43.6	▲ 60.5	▲ 66.7



5. 製品・商品販売価格

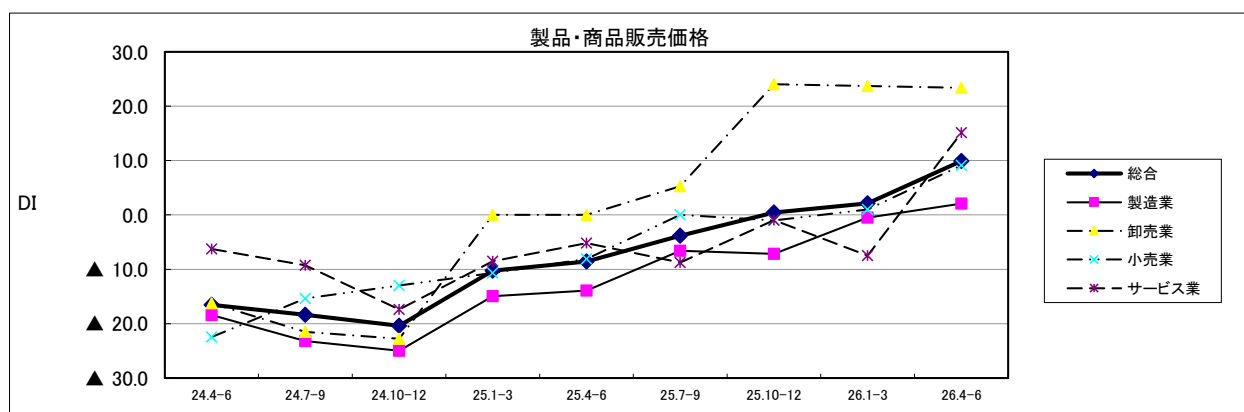
(1) 全体

総合DI（上昇＝下降）は9.9と1～3月期に比べ7.8ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業でプラス幅が拡大、製造業、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業でプラス幅が縮小した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは4.9（前回7.4）となり、プラス幅が縮小する見通し。

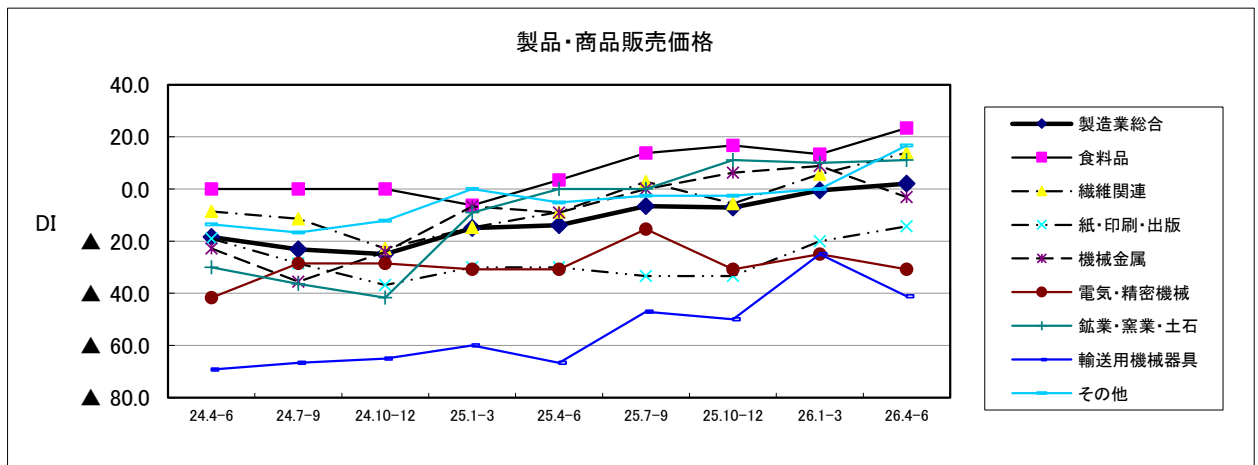
製品・商品販売価格	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	▲ 16.5	▲ 18.4	▲ 20.4	▲ 10.3	▲ 8.6	▲ 3.8	0.4	2.1	9.9
製造業	▲ 18.4	▲ 23.2	▲ 25.0	▲ 14.9	▲ 13.9	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 0.5	2.1
卸売業	▲ 16.3	▲ 21.5	▲ 22.8	0.0	0.0	5.3	24.0	23.7	23.4
小売業	▲ 22.4	▲ 15.4	▲ 13.0	▲ 10.7	▲ 8.1	0.0	▲ 1.0	1.0	9.1
サービス業	▲ 6.3	▲ 9.3	▲ 17.4	▲ 8.5	▲ 5.2	▲ 8.7	▲ 1.0	▲ 7.5	15.1



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、その他ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、機械金属ではプラスからマイナスへ転換、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

製品・商品販売価格	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 18.4	▲ 23.2	▲ 25.0	▲ 14.9	▲ 13.9	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 0.5	2.1
食料品	0.0	0.0	0.0	▲ 6.3	3.4	13.8	16.7	13.3	23.3
繊維関連	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 22.9	▲ 14.7	▲ 8.8	2.8	▲ 5.6	5.7	13.9
紙・印刷・出版	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 36.8	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 14.3
機械金属	▲ 22.9	▲ 35.5	▲ 24.1	▲ 6.7	▲ 9.1	0.0	6.3	8.8	▲ 3.1
電気・精密機械	▲ 41.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 30.8
鉱業・窯業・土石	▲ 30.0	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 9.1	0.0	0.0	11.1	10.0	11.1
輸送用機械器具	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 47.1	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 41.2
その他	▲ 13.5	▲ 16.7	▲ 12.1	0.0	▲ 5.1	▲ 2.6	▲ 2.6	0.0	16.7



6. 製品在庫・商品在庫

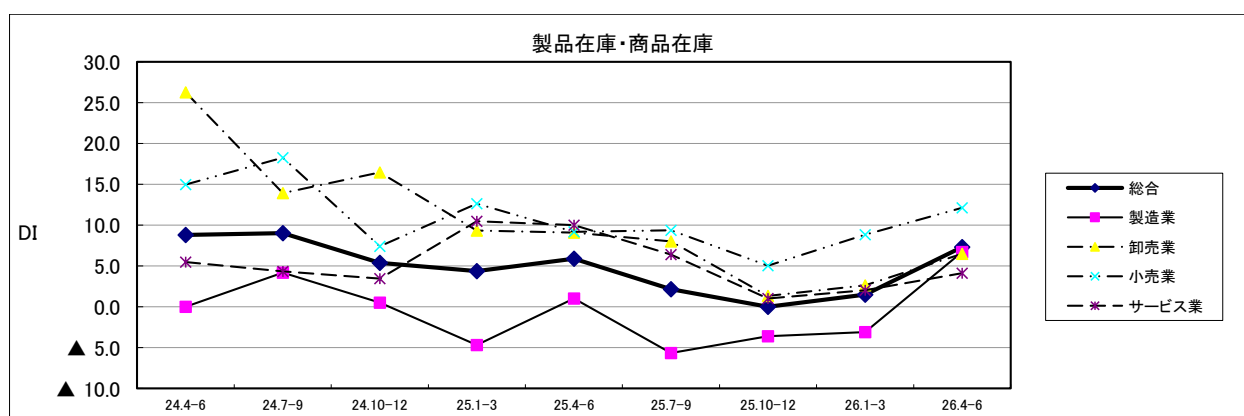
(1) 全体

総合DI（減少－増加）は7.3と1～3月期に比べ5.8ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスに転換した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは1.3（前回7.1）となり、プラス幅が縮小する見通し。

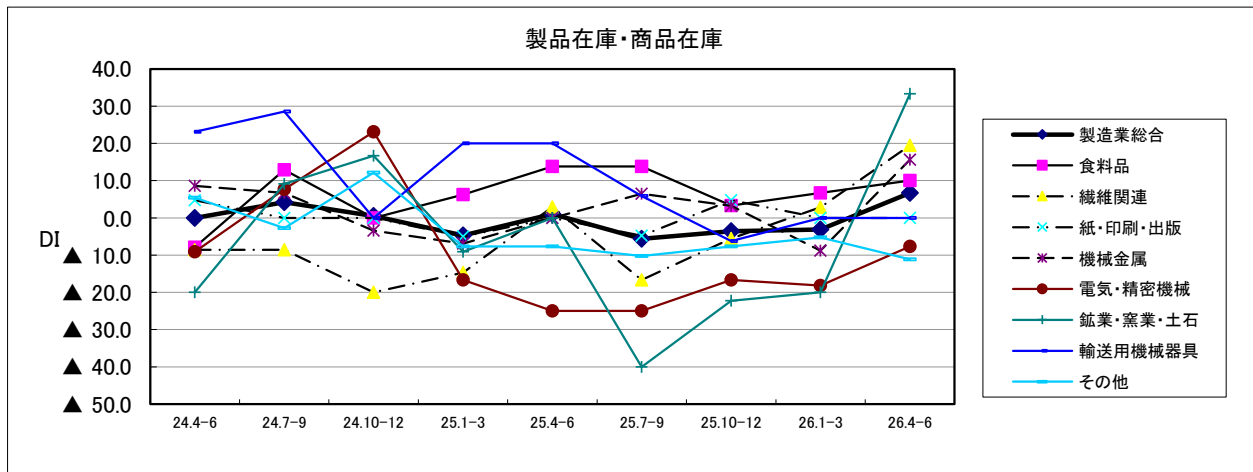
製品在庫・商品在庫	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	8.8	9.0	5.4	4.4	5.9	2.2	0.0	1.5	7.3
製造業	0.0	4.2	0.5	▲ 4.7	1.0	▲ 5.6	▲ 3.6	▲ 3.1	6.7
卸売業	26.3	13.9	16.5	9.3	9.1	8.0	1.3	2.6	6.5
小売業	15.0	18.3	7.4	12.6	9.2	9.4	5.1	8.8	12.1
サービス業	5.5	4.3	3.4	10.5	10.0	6.4	1.0	2.0	4.1



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連ではプラス幅が拡大、機械金属、鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、電気・精密機械ではマイナス幅が縮小、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロで横ばいであった。しかし、その他ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	0.0	4.2	0.5	▲ 4.7	1.0	▲ 5.6	▲ 3.6	▲ 3.1	6.7
食料品	▲ 7.9	12.9	0.0	6.3	13.8	13.8	3.3	6.7	10.0
繊維関連	▲ 8.6	▲ 8.6	▲ 20.0	▲ 14.7	2.9	▲ 16.7	▲ 5.6	2.9	19.4
紙・印刷・出版	4.8	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.8	4.8	0.0	0.0
機械金属	8.6	6.7	▲ 3.4	▲ 6.9	0.0	6.5	3.2	▲ 8.8	15.6
電気・精密機械	▲ 9.1	7.7	23.1	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 7.7
鉱業・窯業・土石	▲ 20.0	9.1	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 20.0	33.3
輸送用機械器具	23.1	28.6	0.0	20.0	20.0	5.9	▲ 6.3	0.0	0.0
その他	5.4	▲ 2.8	12.1	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 10.3	▲ 7.7	▲ 5.3	▲ 11.1



7. 資金繰り

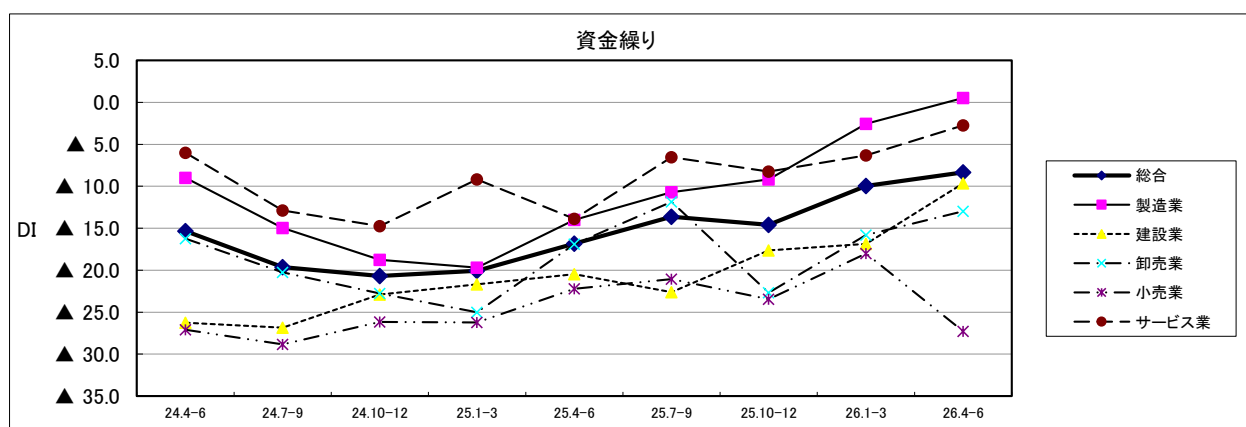
(1) 全体

総合DI（好転—悪化）は▲8.3と1～3月期に比べ1.6ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業でマイナスからプラスに転換、建設業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業でマイナス幅が拡大した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲13.0（前回▲18.4）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

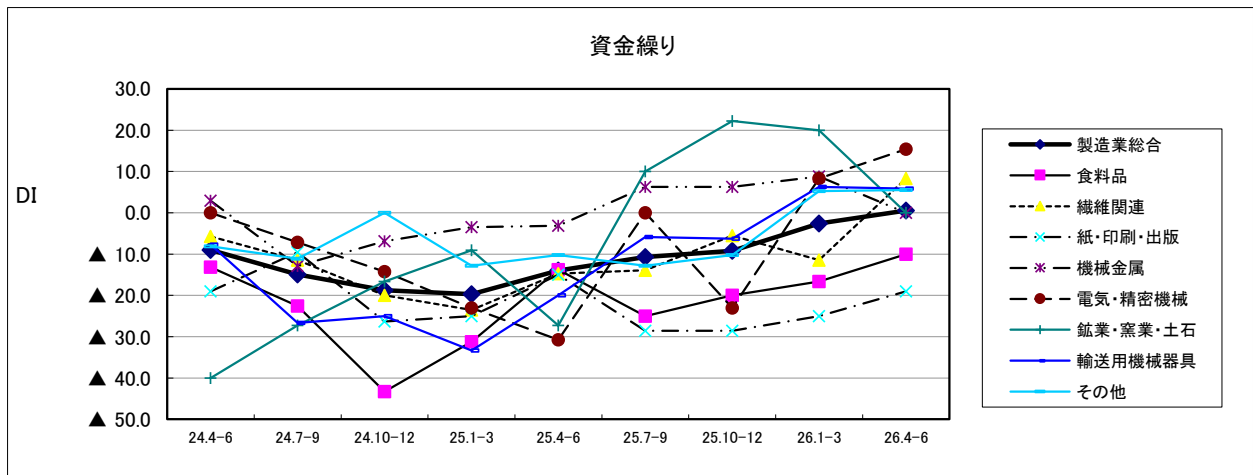
資金繰り	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 20.7	▲ 20.1	▲ 16.8	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 9.9	▲ 8.3
製造業	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 14.0	▲ 10.7	▲ 9.2	▲ 2.6	0.5
建設業	▲ 26.3	▲ 26.8	▲ 22.9	▲ 21.7	▲ 20.5	▲ 22.6	▲ 17.6	▲ 16.9	▲ 9.6
卸売業	▲ 16.3	▲ 20.3	▲ 22.8	▲ 25.0	▲ 16.9	▲ 11.8	▲ 22.7	▲ 15.8	▲ 13.0
小売業	▲ 27.1	▲ 28.8	▲ 26.2	▲ 26.2	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 23.5	▲ 18.0	▲ 27.3
サービス業	▲ 6.0	▲ 12.9	▲ 14.7	▲ 9.2	▲ 13.9	▲ 6.5	▲ 8.3	▲ 6.3	▲ 2.8



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械、その他ではプラス幅が拡大、繊維関連ではマイナスからプラスへ転換、食料品、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、輸送用機械器具ではプラス幅が縮小、機械金属、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

資金繰り	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 14.0	▲ 10.7	▲ 9.2	▲ 2.6	0.5
食料品	▲ 13.2	▲ 22.6	▲ 43.3	▲ 31.3	▲ 13.8	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 10.0
繊維関連	▲ 5.7	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 23.5	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 5.6	▲ 11.4	8.3
紙・印刷・出版	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 26.3	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 19.0
機械金属	2.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 3.4	▲ 3.1	6.3	6.3	8.8	0.0
電気・精密機械	0.0	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.1	▲ 30.8	0.0	▲ 23.1	8.3	15.4
鉱業・窯業・土石	▲ 40.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 27.3	10.0	22.2	20.0	0.0
輸送用機械器具	▲ 7.7	▲ 26.7	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 6.3	6.3	5.9
その他	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	▲ 12.8	▲ 10.3	▲ 12.8	▲ 10.3	5.3	5.6



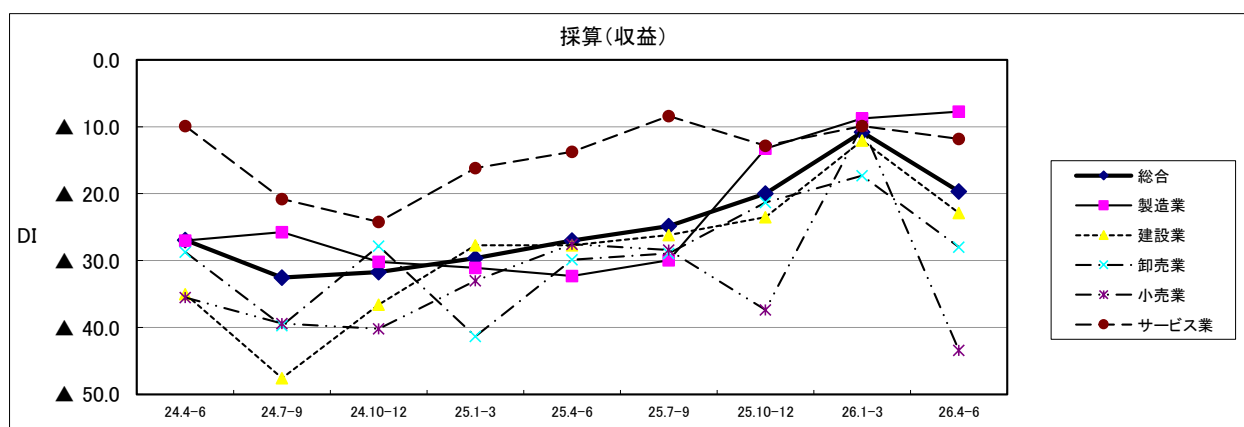
8. 採算（収益）

(1) 全体

総合DI（好転—悪化）は▲19.7と1～3月期に比べ8.9ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲19.0（前回▲33.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

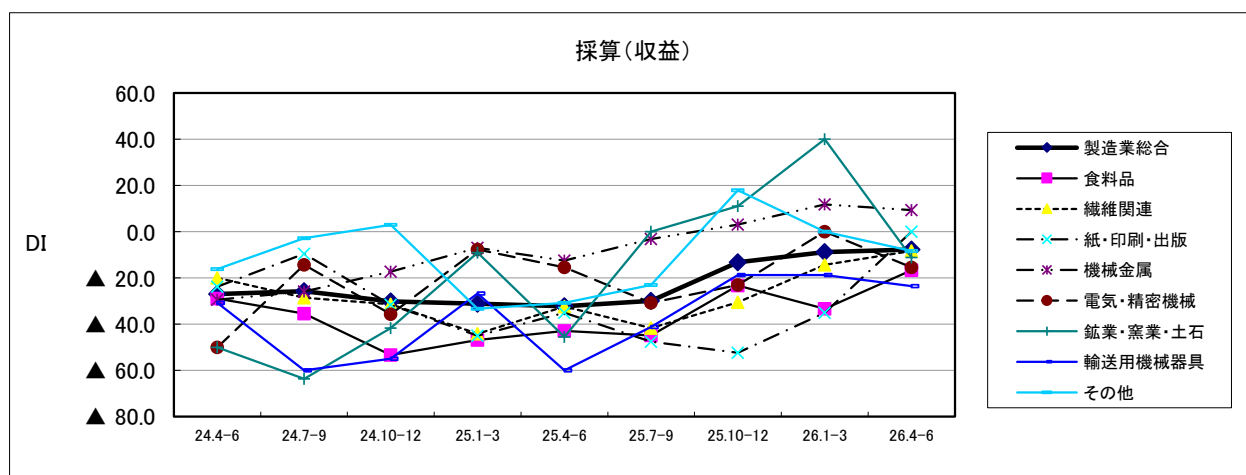
採算(収益)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	▲26.9	▲32.6	▲31.7	▲29.7	▲27.0	▲24.9	▲20.0	▲10.8	▲19.7
製造業	▲27.0	▲25.8	▲30.2	▲31.1	▲32.3	▲29.9	▲13.3	▲8.8	▲7.7
建設業	▲35.0	▲47.6	▲36.6	▲27.7	▲27.7	▲26.2	▲23.5	▲12.0	▲22.9
卸売業	▲28.8	▲39.7	▲27.8	▲41.3	▲29.9	▲28.9	▲21.3	▲17.3	▲28.0
小売業	▲35.5	▲39.4	▲40.2	▲33.0	▲27.6	▲28.4	▲37.4	▲9.9	▲43.4
サービス業	▲9.9	▲20.8	▲24.2	▲16.2	▲13.7	▲8.4	▲12.8	▲9.9	▲11.8



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連ではマイナス幅が縮小した。しかし、機械金属ではプラス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換、電気・精密機械、その他ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 27.0	▲ 25.8	▲ 30.2	▲ 31.1	▲ 32.3	▲ 29.9	▲ 13.3	▲ 8.8	▲ 7.7
食料品	▲ 28.9	▲ 35.5	▲ 53.3	▲ 46.9	▲ 42.9	▲ 44.8	▲ 23.3	▲ 33.3	▲ 16.7
繊維関連	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 31.4	▲ 44.1	▲ 32.4	▲ 41.7	▲ 30.6	▲ 14.3	▲ 8.3
紙・印刷・出版	▲ 23.8	▲ 9.5	▲ 31.6	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 47.6	▲ 52.4	▲ 35.0	0.0
機械金属	▲ 29.4	▲ 25.8	▲ 17.2	▲ 6.9	▲ 12.5	▲ 3.1	3.1	11.8	9.4
電気・精密機械	▲ 50.0	▲ 14.3	▲ 35.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	0.0	▲ 15.4
鉱業・窯業・土石	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 41.7	▲ 9.1	▲ 45.5	0.0	11.1	40.0	▲ 11.1
輸送用機械器具	▲ 30.8	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 26.7	▲ 60.0	▲ 41.2	▲ 18.8	▲ 18.8	▲ 23.5
その他	▲ 16.2	▲ 2.8	3.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 23.1	17.9	0.0	▲ 8.3



9. 従業員数（常用）

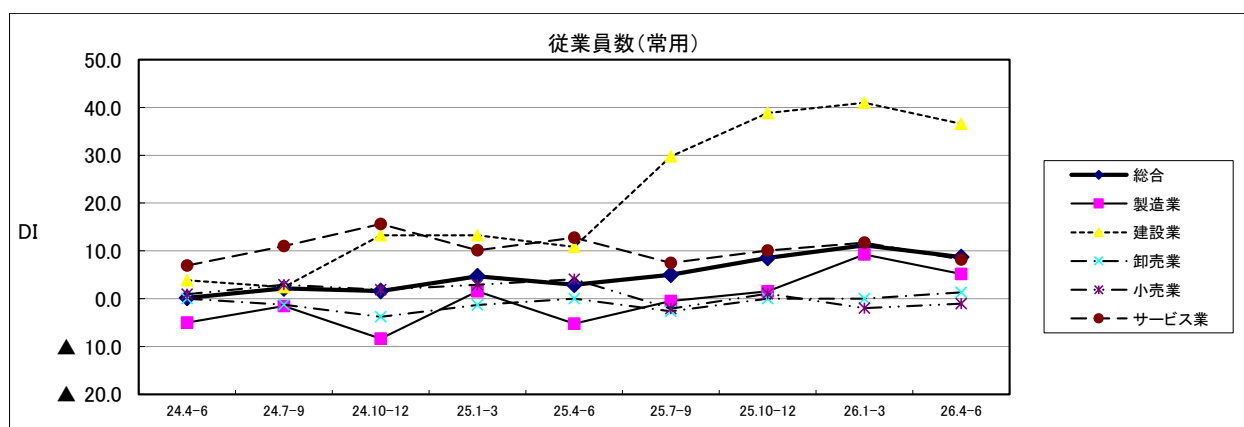
(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は8.7と1～3月期に比べ2.5ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、卸売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、小売業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業、サービス業でプラス幅が縮小した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは7.0（前回3.6）となり、プラス幅が拡大する見通し。

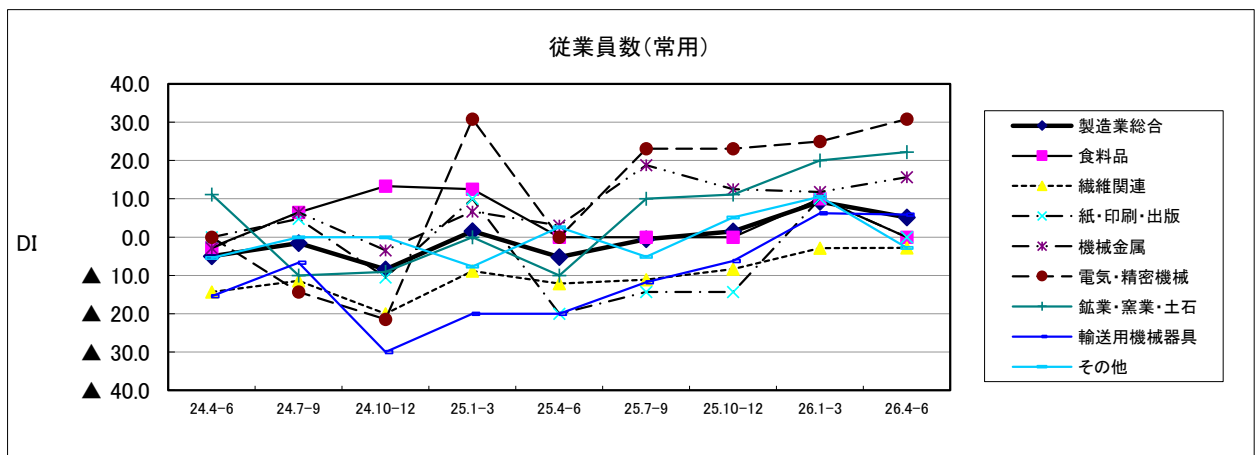
従業員数(常用)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	0.2	2.2	1.6	4.7	2.9	5.0	8.5	11.2	8.7
製造業	▲ 5.0	▲ 1.6	▲ 8.4	1.6	▲ 5.2	▲ 0.5	1.5	9.2	5.2
建設業	3.8	2.4	13.3	13.3	10.8	29.8	38.8	41.0	36.6
卸売業	0.0	▲ 1.3	▲ 3.8	▲ 1.3	0.0	▲ 2.6	0.0	0.0	1.3
小売業	0.9	2.9	1.9	2.9	4.1	▲ 2.1	1.0	▲ 2.0	▲ 1.0
サービス業	6.9	11.0	15.6	10.1	12.7	7.5	10.1	11.7	8.2



(2) 製造業の内訳

機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、繊維関連ではマイナス幅が縮小した。しかし、輸送用機械器具ではプラス幅が縮小、食料品、紙・印刷・出版ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、その他ではプラスからマイナスへ転換した。

従業員数(常用)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	▲ 5.0	▲ 1.6	▲ 8.4	1.6	▲ 5.2	▲ 0.5	1.5	9.2	5.2
食料品	▲ 2.6	6.5	13.3	12.5	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
繊維関連	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 8.8	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 8.3	▲ 2.9	▲ 2.8
紙・印刷・出版	0.0	4.8	▲ 10.5	10.0	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 14.3	10.0	0.0
機械金属	▲ 2.9	6.5	▲ 3.4	6.7	3.0	18.8	12.5	11.8	15.6
電気・精密機械	0.0	▲ 14.3	▲ 21.4	30.8	0.0	23.1	23.1	25.0	30.8
鉱業・窯業・土石	11.1	▲ 10.0	▲ 9.1	0.0	▲ 10.0	10.0	11.1	20.0	22.2
輸送用機械器具	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 11.8	▲ 6.3	6.3	5.9
その他	▲ 5.4	0.0	0.0	▲ 7.7	2.6	▲ 5.1	5.1	10.5	▲ 2.8



10. 従業員数（臨時）

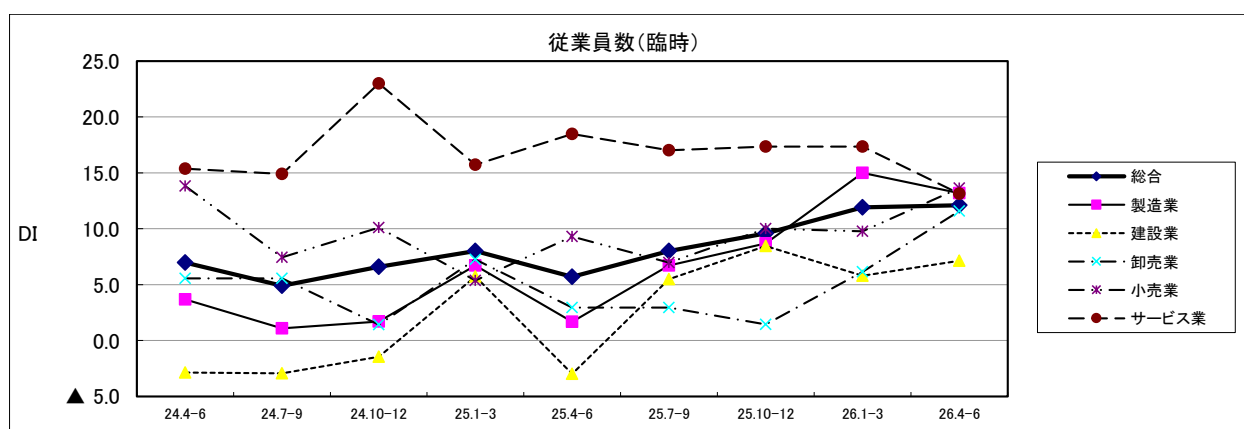
(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は12.1と1～3月期に比べ0.2ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、建設業、卸売業、小売業ではプラス幅が拡大した。しかし、製造業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

平成26年7～9月期の先行き見通し総合DIは9.3（前回8.5）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(臨時)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	7.0	4.9	6.6	8.0	5.7	8.0	9.6	11.9	12.1
製造業	3.7	1.1	1.7	6.7	1.7	6.7	8.7	15.0	13.2
建設業	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 1.4	5.7	▲ 3.0	5.5	8.5	5.8	7.1
卸売業	5.6	5.6	1.4	7.2	2.9	2.9	1.4	6.2	11.6
小売業	13.8	7.4	10.1	5.4	9.3	7.0	10.0	9.8	13.6
サービス業	15.4	14.9	23.0	15.7	18.5	17.0	17.3	17.3	13.1



(2) 製造業の内訳

食料品、電気・精密機械ではプラス幅を拡大、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいであった。しかし、繊維関連、機械金属、輸送用機械器具、その他ではプラス幅が縮小、紙・印刷・出版ではマイナス幅が拡大した。

従業員数(臨時)	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
製造業総合	3.7	1.1	1.7	6.7	1.7	6.7	8.7	15.0	13.2
食料品	5.3	3.2	10.3	6.5	3.6	0.0	10.0	16.7	27.6
繊維関連	6.3	3.1	3.2	9.4	12.9	3.0	17.6	21.9	14.7
紙・印刷・出版	10.0	0.0	▲ 11.8	12.5	▲ 17.6	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 5.9	▲ 11.1
機械金属	0.0	▲ 6.7	4.2	7.1	3.3	19.2	17.9	17.9	13.8
電気・精密機械	0.0	0.0	7.7	25.0	18.2	30.8	25.0	33.3	46.2
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
輸送用機械器具	▲ 7.7	6.7	▲ 15.0	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0	26.7	6.3
その他	5.7	2.9	6.5	2.8	0.0	11.1	2.6	8.3	5.9

